

令和8年度「スポーツクラブ 21 ひょうご」全県連絡協議会第2回 理事会 議事録

1 期日・場所 令和8年8月28日(金) 14:00～15:30
兵庫県学校厚生会館 2階大会議室

2 出席者
(顧問1名) 中田顧問
(代表理事7名) 菅原会長 村田副会長 高松副会長 柴田代表理事
中島代表理事 細見代表理事 坂本代表理事
(理事3名) 田畑理事 有坪理事 大力理事
【欠席3名: 森澤理事 垣尾理事 平田理事】

(その他役員1名) 深澤女性委員長

(監事役員) 坂口幹事 神屋幹事

(地区事務局11名) 神戸市 吉中 事務職員
神戸県民センター 横山 主事
阪神南県民センター 岡田 課長補佐
阪神北県民局 佐野 県政推進事務員
東播磨県民局 花本 主事
北播磨県民局 宮崎 主事
中播磨県民センター 藤田 副主任
西播磨県民局 杉本 臨時職員
但馬県民局 押田 副主任
丹波県民局 池本 主事
淡路県民局 大下 課長補佐

(兵庫県スポーツ協会1名)
藺田 地域スポーツクラブ推進員

(県事務局5名) 越智 事務局長 (スポーツ振興課長)
宮本 事務局次長 (副課長兼スポーツ環境班長)
榎木 事務局員 (競技・生涯スポーツ班長)
寺尾 事務局員 (スポーツ振興専門員)
中村 事務局員 (主任)

3 開会あいさつ 菅原会長

4 出席者紹介 別添出席者一覧のとおり

5 協 議 事 項

(1) 令和8年度「スポーツクラブ 21 ひょうご」全県スポーツサミットについて

配付資料に基づき、・開催要項、スポーツサミット予算案、当日のスケジュール、当日に来場する SC21 会員への交通費の支給方法、県民局・県民センター職員の役割分担について、県事務局から説明した。

■ 役員の主な意見

【村田副会長（神戸地区）】

○ 予算案の支出の「バス代補助費」は科目がおかしいので訂正していただきたい。

【中村事務局員（事務局）】

○ 「交通費」に修正を行う。

→ (1)について、承認

(2) 令和9年度以降の「スポーツクラブ 21 ひょうご」全県スポーツサミットについて

配布資料に基づき、令和9年度以降のサミットに代わるイベント案（SPORTS CLUB 21 HYOGO CONNECT）について事務局より説明を行った。

【坂本代表理事（淡路地区）】

○ 10年ほど前にも同様のイベントがあり、大変有意義だったと記憶している。現在のサミットは有識者の話を聞ける貴重な機会であり、ニュースポーツ交流会も参加者同士の交流促進に効果的である。これらの取組を単年度で終わらず、中長期的に継続していくことが重要である。

【菅原会長（播磨東地区）】

○ 合田弁護士には昨年に続き今年も登壇いただくが、専門家の話を直接聞ける貴重な機会であり、参加者の意識向上に大きく役立っている。

【高松副会長（中・西播磨地区）】

○ 学校部活動の地域展開について、都市部では取組が進んでいる一方、郡部では連携の進め方が分からず取組が進んでいない地域もある。そのため、来年度を待たず、可能であれば今年度から実施して欲しい。

【村田副会長（神戸地区）】

○ サミットは近年神戸開催が続いており神戸地区としてはありがたいが、以前のように開催地を変えながら実施することで、各地域の取組を学ぶ機会にもなるため、持ち回り開催も検討して欲しい。

【菅原会長（播磨東地区）】

○ 提案があったが、近年神戸地区で開催している理由はなにか。

【榎木事務局員（事務局）】

○ 当時は兵庫県スポーツ協会も加わり、toto 助成を受けながら大きな予算でサミットを開催していた。スポーツ協会が撤退してからは、ほぼ神戸地区での開催が続いているのが現状である。

【中田顧問（神戸地区）】

○ 開催地を各地区で持ち回りにすると、主催地区の会員参加率が高まりサミットの普及には効果的である。一方で、主催地区や担当者の負担が大きく、過去には教育事務所から反対意見もあったため、その点が課題である。

【中村事務局員（事務局）】

- 補足すると新しいイベント案は全県連絡協議会が主導でやっていく想定で、地区（県民局・県民センター等）の負担はなるべく少なくなるように考えている。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 事務局からの申し出について、来年度からやっていくとなると急いで議論しないといけない。

【中村事務局員（事務局）】

- 来年度に向けて事務局が提案できるよう方向性をここで決めていただければと考えている。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 会場確保等の事情もあるため、この場で今後の方向性を決定したい。神戸地区以外での開催について提案があったが、ご意見はあるか。

【柴田代表理事（阪神地区）】

- 全県事業としての意義を考えると、サミットは各地区を持ち回りで開催することが望ましい。阪神地区でも開催地を固定せず巡回しており、その点からも各地区での開催に賛成である。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 賛成意見が出されたので、ここで採決を取りたい。来年度以降、サミットを全地区で持ち回り開催することについて、賛成の方は挙手をお願いします。
⇒ ほぼ全員が賛成のため、承認。※開催地区や内容は別途協議する。

(3) 令和8年度全県スポーツ大会について

各地区から現段階の企画内容を報告。※下記は一覧（P7）以外の発言を抜粋

【村田副会長（神戸地区）】

- 約 1000 人の参加を見込み、スタッフ約 200 名体制で運営する。来年の第 15 回記念大会を見据え、そのプレイベントとしてキッチンカーを手配するなど、参加者に楽しんでもらえる大会にしたいと考えている。

【花本主事（東播磨県民局）】

- 大会の主催は NPO 法人加古川総合スポーツクラブである。バレーボール大会について、昨年はチーム数が多くスケジュールが過密だったが、今年度は会場を複数用意することを検討している。詳細については、確定次第連絡する。

【藤田副主任（中播磨県民局）】

- 卓球大会は男女混合でのダブルス参加が可能である。大会の周知は、実施要項等が確定次第行う予定である。

【押田副主任（但馬県民局）】

- 募集チーム数は例年 20 チームほどである。但馬以外の地区の参加が毎年少ないため、各地区での周知をお願いしたい。

【大下課長補佐（淡路県民局）】

- 1 チーム 6 名で、16 チームの募集を予定している。各地区のみなさまの参加をお願いしたい。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 各地区からの報告に感謝する。ソフトバレーボール大会については、以前は加古川地区からも多くの参加があったと記憶している。全県的な取組であるため、各地区において積極的に参加いただきたい。

⇒ (3)について、承認。

(4) 全県連絡協議会銀行口座（運営費）のネットバンキング導入について

配布資料に基づき、昨今の振込手数料の値上がりを受けて、各クラブからの会費を管理している通帳（ゆうちょ銀行）についてのネットバンキングについて事務局から提案。

【高松副会長（中・西播磨地区）】

- 今回のゆうちょ銀行のみか。

【中村事務局員（事務局）】

- 全県連絡協議会の銀行口座は、三井住友銀行口座（県委託費管理）とゆうちょ銀行口座（会費管理）の2種類を使用している。三井住友銀行口座については、前回の理事会においてインターネットバンキングの利用が承認されている。なお、インターネットバンキングにより他行への振込も可能である。

⇒ (4)について、承認。

6 報告事項

(1) 10年プランの進行状況について

配付資料に基づき事務局が説明した。令和8年度までに各クラブが今後の方向性を決定する必要があること、「休会」希望クラブは休会・統合を検討すること、また「廃止」制度は現在ないが令和9年度中に創設予定であることを周知した。

【菅原会長（播磨東地区）】

- アンケートに未回答のクラブはフォローをしているのか。

【中村事務局員（事務局）】

- 市町を通じて複数回回答を依頼しているが、連絡がつかないクラブもあり未回答が残っている。今年度の調査においても、未回答の解消に努めていきたい。

【中島代表理事（但馬地区）】

- アンケート結果は全県集計となっているが、地区ごとに実情が異なると考えられるため、地区別の集計資料を示していただきたい。

【中村事務局員（事務局）】

- 次年度からは地区ごとで提示する。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 各クラブの方向性を決めることは重要だが、単に休会するだけではなく、どのような支援や取組があれば活動を継続できるのかを具体的に考える必要がある。加古川総合スポーツクラブでも高齢化が進み運営に苦慮しているため、意見を伺いたい。

【中田顧問（神戸地区）】

- 10年プランでは、当初、5年後までに各市町でモデルプランを作成することを目標としていた。今後は各クラブ単位だけでなく、市町がどのような方向性を持って取り組むかが重要である。役員にはその観点を地区に持ち帰り、協議してい

ただきたい。

7 その他

- (1) 登録・認証制度、次世代のスポーツ人材育成プロジェクトについて
配布資料に基づき、(公財)兵庫県スポーツ協会から説明を行った。

- (2) 全県スポーツ大会についての情報交換

中・西播磨地区から、長年全県スポーツ大会を担当してきた太子町が次年度から担当を他市町へ引き継ぐ予定であることを踏まえ、今後の大会運営方針について各地区で意見交換を行いたいとの提案があった。

【藤田副主任（中播磨県民センター）】

- 中・西播磨地区では、市町によって運営体制に差があり、持ち回り開催が難しい状況にある。各市町の負担軽減策や今後の全県スポーツ大会の運営方針について、意見を伺いたい。

【高松代表理事（中・西播磨地区）】

- 少子高齢化の影響により、全県スポーツ大会の実施が難しくなっているとの声もある。このような課題は他地区にも共通していると思われるため、各地区の状況を伺いたい。

【中田顧問（神戸地区）】

- 神戸地区では、各区の代表者による実行委員会方式で1,000人規模のイベントを運営しており、約200人のスタッフが参画している。地区連絡協議会は会員が主体となって運営することが重要であり、神戸地区でも参加料や協賛金を活用しながら自主的な運営を行っている。各地区においても、自主性を持った運営体制づくりを進めていただきたい。

【柴田代表理事（阪神地区）】

- 尼崎市では約40のクラブが活動しており、阪神地区では持ち回りで大会を開催している。負担が大きいとの声はあるが、実施できない市町はない。太子町の負担軽減に向けて他市町の協力を得ながら、継続して開催できる方法を検討していただきたい。

【有坪理事（阪神地区）】

- 三田市では、過去にノルディックウォーク大会を企画したものの、参加者が集まらず中止した経緯がある。人気のあるスポーツやニュースポーツは参加者を集めやすい一方で、種目によっては集客が難しい状況がある。

【中田顧問（神戸地区）】

- 市町持ち回りではなく、地区連絡協議会が主体となって運営する形も検討してはどうか。各市町の代表者が協力して運営に当たることで負担の分散につながり、地域の参加意識や主体性の向上も期待できる。地区の実情に応じた運営体制について検討していただきたい。

【大力理事（播磨東地区）】

- 三木市では大きな市町に頼る面もあるが、特定の市町だけが負担を担うのではなく、各市町が協力しながら運営していく姿勢が重要だと思う。

【菅原会長（播磨東地区）】

- 加古川市では全県スポーツ大会でバレーボールやバスケットボールを実施して

おり、多くの参加者を集めている。また、クラブフェスタを播磨東地区連絡協議会と連携して開催し、地区内市町によるニュースポーツの紹介など、地区全体でイベントの企画・運営に取り組んでいる。

【中島代表理事（但馬地区）】

- 但馬地区では約 10 年間にわたりソフトバレーボール大会を継続して開催しており、養父市を会場としながらも全市町が協力して運営している。役員が定期的に交代する中、経験者や県民局を中心に連携して大会を支えており、地区連絡協議会の結束にもつながっている。

【細見代表理事（丹波地区）】

- 丹波地区では高齢化により、クラブの維持や会費納入が困難なクラブが増えている。休会しているクラブもあり、今後はまちづくり協議会のスポーツ部門の中で活動していく方向を検討している。

【坂本代表理事（淡路地区）】

- 淡路地区は3市で構成されているが、学校統廃合が進み、クラブ活動の維持が難しくなっている。クラブの廃止を検討する事例もあり、地区連絡協議会でも他市町の状況を情報共有している。全県スポーツ大会は長年3市による持ち回りで運営しており、現在はローテーション制を採用することで継続している。競技はグラウンド・ゴルフを実施しており、競技人口が多いため全県から参加者が集まっている。

【藤田副主任（中・西播磨地区）】

- 中・西播磨地区では、中播磨と西播磨で1年ごとに事務局を持ち回りながら運営している。今後も継続できる体制や仕組みづくりが必要であると感じており、本日の意見交換は大変参考になった。ありがとうございました。

8 閉会あいさつ 村田副会長

9 閉 会